

東南アジア古典文化論 2007年度1学期
2007年6月29日

チャンディ・プランバナ

青山 亨
東京外国語大学外国語学部
インドネシア語専攻



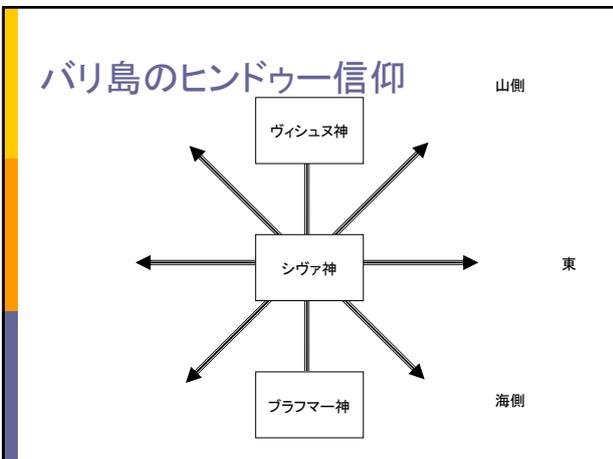
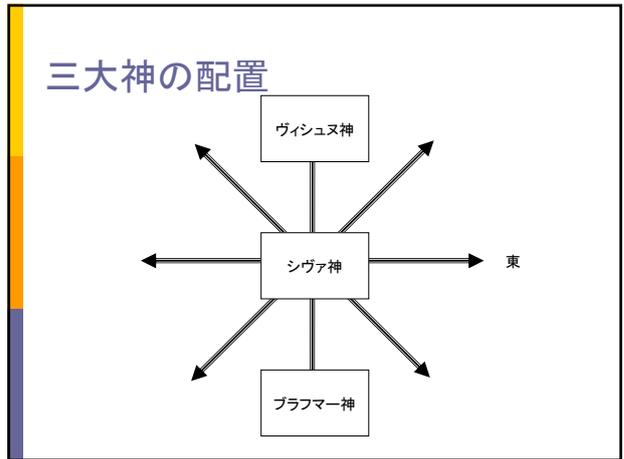
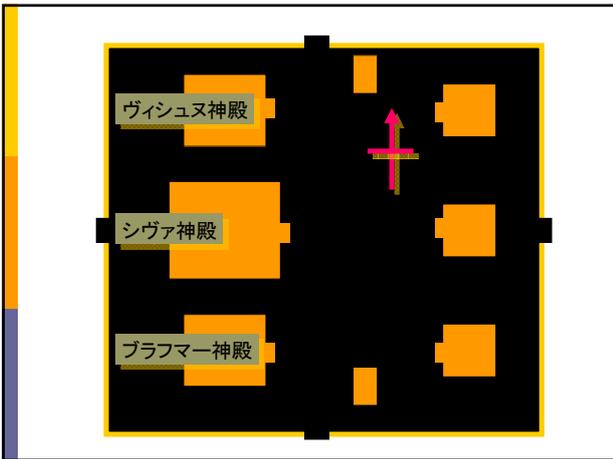
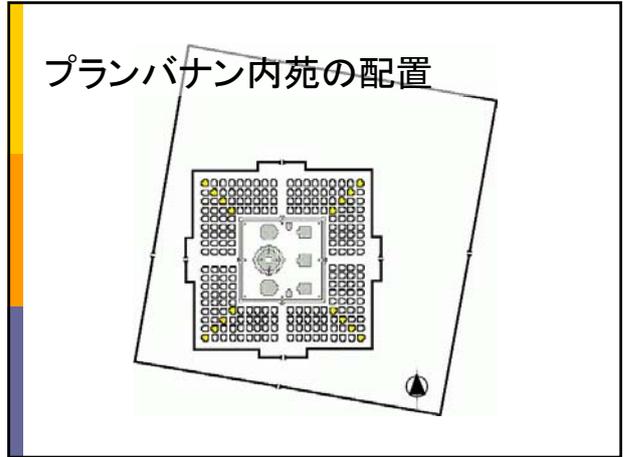
プランバナンの概要

- チャンディ・プランバナ (Prambanan)
 - チャンディ: 石造・煉瓦作り宗教建築遺構
 - 別称ロロ・ジョングラン
- 中ジャワ州 プランバナ平原
- 9世紀中頃、ヒンドゥー教を信奉するマタラム王朝 (サンジャ王朝)によって創建
- 内苑は四方110m。
- 北にヴィシュヌ神殿、中央にシヴァ神殿、南にブラフマー神殿。
- シヴァ神殿は高さ47m。内部に4体の神像。
- 回廊には『ラーマーヤナ』などの浮き彫り

プランバナンの歴史

- 10世紀にマタラム王朝の中心は東ジャワに移動
- 16世紀の地震で大破
 - ジャワがイスラーム化したため忘却される
 - ロロ・ジョングラン(すらしとした乙女)の伝説
- 1937年からオランダが再建修復事業
- 1991年、ユネスコ世界遺産に登録
- 2006年5月27日、中部ジャワ地震で被害





トゥリムルティ

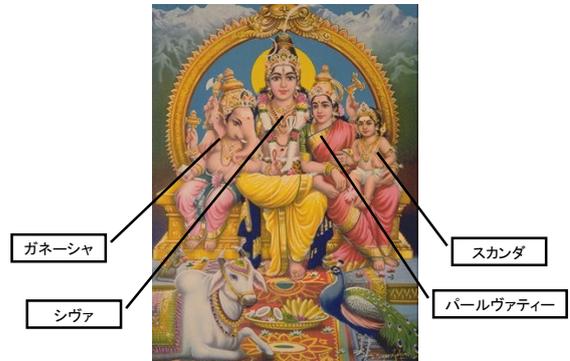
□ 新しい神々

- ブラーフマー神: 世界の創造
- ヴィシュヌ神: 世界の維持
- シヴァ神: 世界の破壊

□ 古い神々

- アグニ神: 火
- スーリヤ神: 太陽
- ブラーフマー神(梵天): 本来はブラーフマン(梵)
- インドラ神(帝釈天): 雷神、神々の王

シヴァ神とその家族



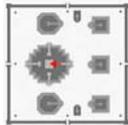
ガネーシャ

シヴァ

スカンダ

パールヴァティー

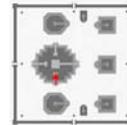
シヴァ神殿中心(東面)の像



シヴァ神



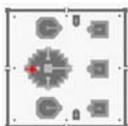
シヴァ神殿南側の像



アガスティヤ仙、もしくは、
パタラ・グル神



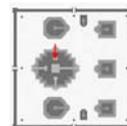
シヴァ神殿西側の像



ガネーシャ

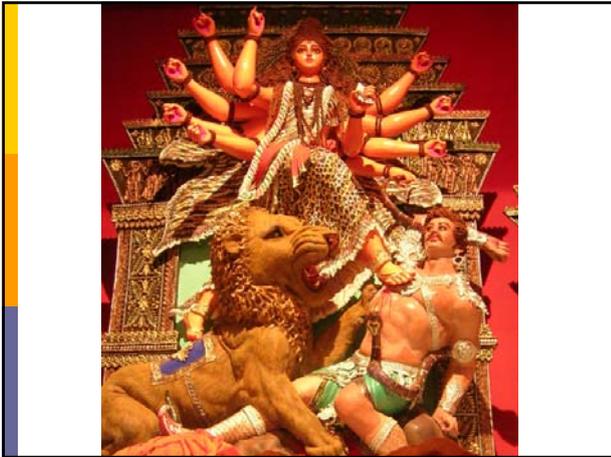


シヴァ神殿北側の像



阿修羅の王マヒシャを退治
するドゥルガー女神





回廊の浮き彫り

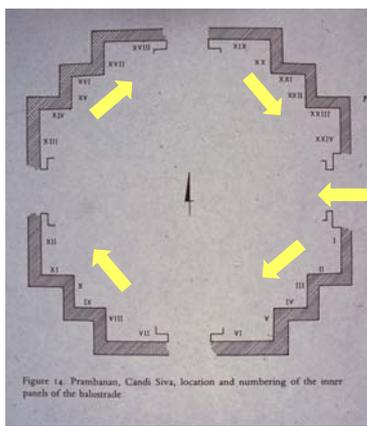
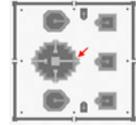
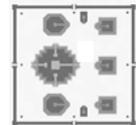
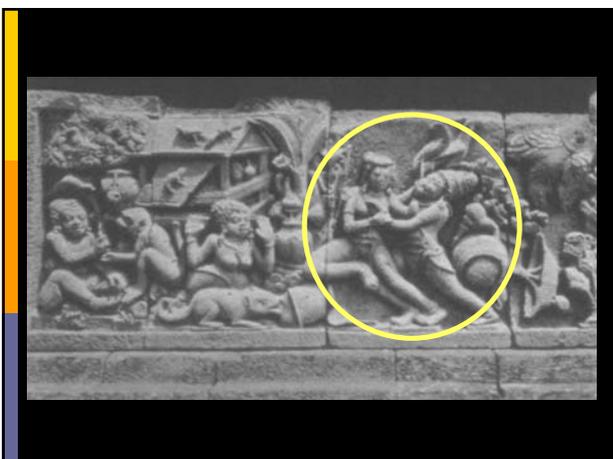
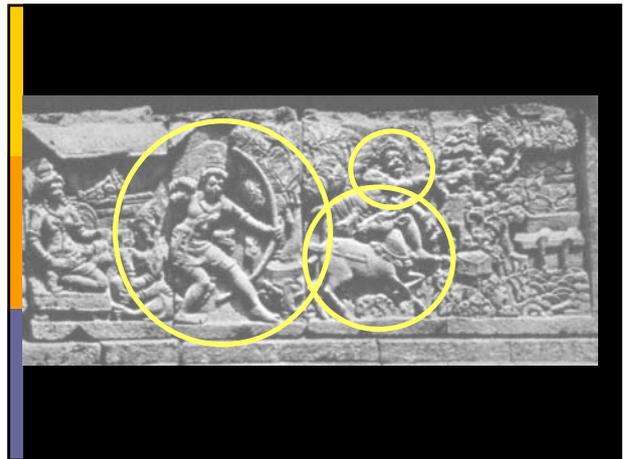
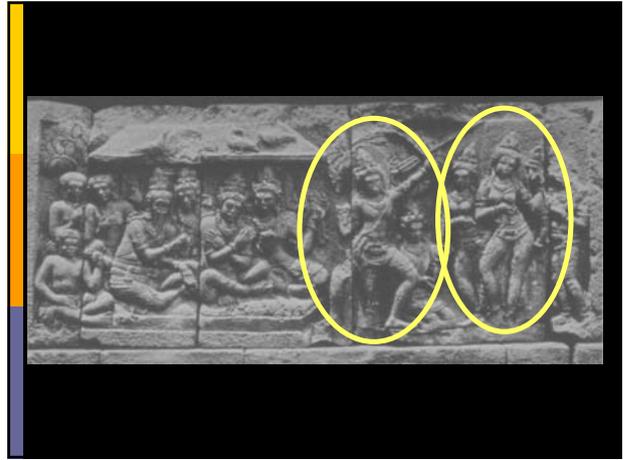


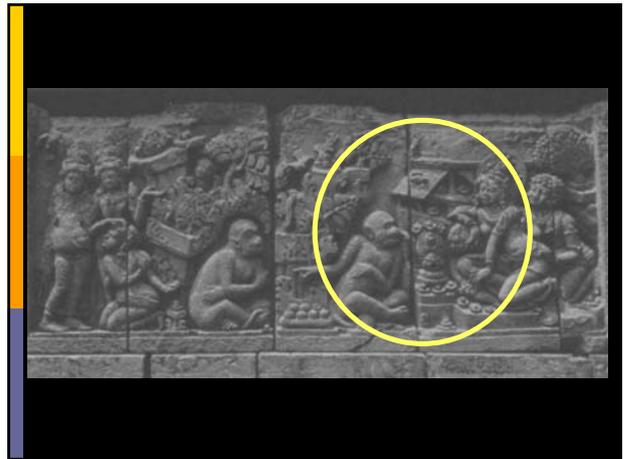
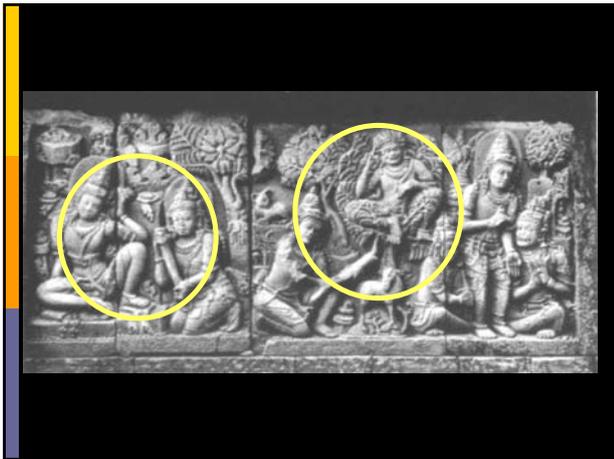
Figure 14. Prambanan, Candi Siva, location and numbering of the inner porch of the bahurude



ラーマヤナ物語

- 王都アヨーディヤーの王子ラーマは、后シーター、弟ラクシュマナとともに、14年間、森に追放される。
- 森の中で、シーターは魔王ラーヴァナに誘拐され、魔都ランカーに幽閉される。
- 行方不明になったシーターをラクシュマナとともに探すラーマは、猿の王スグリーヴァと盟友となる。
- スグリーヴァの家来ハヌマーンの活躍で、シーターの居所を突き止めたラーマは、猿の軍団を引き連れて、ランカーに攻撃をしかける。
- 激戦の末にラーヴァナを倒したラーマは、シーターを連れてアヨーディヤーへ凱旋する。





まとめ: プランバナン寺院

- 9世紀におけるジャワのヒンドゥー教信仰
- 「ヒンドゥー教百科事典」的性格
- ブラーフマー神、ヴィシュヌ神、シヴァ神
- シヴァ神: 4体の神像
- ヴィシュヌ神: 「ラーマーヤナ」の浮き彫り

参考文献

- 岩本裕(訳)『ラーマーヤナ』1、2(平凡社東洋文庫) 平凡社、1995、2000.
- 金子量重、坂田貞二、鈴木正崇(編)『ラーマーヤナの宇宙—伝承と民族造形』春秋社、1998.

引き続きビデオをご覧ください。

TBS 世界遺産 第208回
2000年7月2日放映
「プランバナン寺院遺跡群」24分